

6月定例議会・報告

★補足はホームページに <http://www.mfi.or.jp/mirai/>

●監査委員と議長人事の舞台ウラ

監査委員の交代をつめよる

村長が民間から選任した監査委員の辞任に伴い、議員間で選出した高村文教議員の監査委員も交代したらどうかと多数の議員がつめよりました。

理由は「慣例・慣習」だということです。高村文教議員は、歴代の監査委員名簿を出し、「慣例・慣習はみられない」「辞任する意思は無い」ことを理由にこれを拒否しました。

樋口も、「高村文教議員は適任者であり、民間委員の辞任で議会側が振り回される必要はない」と、発言をしました。

村民に説明のつかない議長人事

一議会の良識はどこに！

高村昌也議長も辞意にともない、新議長の人選が議員控室で話し合われました。山中地区在住の議員と平野地区在住の議員とに分かれての話し合いです。

天野凱弘議員が「今度は平野が議長を貰うべーよ！ 義道(長田義道議員)でどうだ」と切出しました。樋口は「正男君(羽田正男議員)はどうか?」と発言しましたが反応なし。天野凱弘議員が「じゃそういうことで」と、後はたわいもない雑談。

再び全員が集合。高村昌也議長から「新議長は長田義道君、副議長は高村高義君でお願いします」との発言がありました(前日、湖畔の食堂で決まっていたらしい)。

しかし、樋口は、次のような理由により同意できない旨を主張しました。

1、少なくとも、樋口は、村全体から選出された議員であり、平野・山中という地区割りに同意できない。また、平野として話し合った事実も無く、一方的に名前が出されただけである。

2、そもそも議長とは、議会を代表し、議場の秩序を保持し、議事を整理する重要な責務がある。然るに、彼は、昨年の6月定例議会を流会させた本人であり、行政学の教授から「議員の職務を逸脱する行為である」とまで非難された。しかし、今日まで、議会にも村民にも何等の釈明もたは弁明もおこなっていない。果たして議会を代表する役職にふさわしいか?

議会の良識が疑われるものであり、とうてい村民の理解を得ることはできない。

以上の理由から、本会議においては、全員一致を前提にした議長推薦ではなく、各議員が良識と村民への責任において「投票による選挙」を行うよう申し出ました。

かくして投票による議長選挙は行われ、長田義道議員12票、樋口重喜1票によ

●村長は、村民の経済的窮状を直視せよ！ 一般質問での提案に無回答

一般質問は、今年から一人30分に時間制限されました。

「かわら版」を読まれた村民の一人から「山中湖村の経済の落ち込みは、想像以上に深刻です」「村長派の議員でさえ『何とかしてもらいたい』と悲鳴を上げています」「東電の交流プラザやムダなダム工事などの費用の一部を、実際の経済復興対策にまわして貰いたい」と書かれた手紙をいただきました。これは、大多数の村民の本音だと思います。

そこで樋口は、村長に対し、「実際の村民の暮らしや経済状態を見ますと、保養所等の解約、民宿・ペンションの宿泊客の半減、その他貸しポートなどの観光業者の経済状態や村民の暮らしは、深刻な問題をはらんでおり、大多数の村民が『何とかしてくれ!』と悲鳴とも思える声を上げているのが実状です。

そこで私は、これらの課題を早急に対処すべく、村民と行政の一体化した「山中湖村緊急経済対策協議会」のような機関の設置と運営を提案したいと思います。この提案について村長の見解を求めます」と質問をしました。

これに対し村長は、「通告の質問内容と違うので答弁の必要は無い!」と、そっけない回答。

しかし、事前に「村政の現状認識と課題」「目指すべき方向性」の具体的な回答要求を通告してあるのだから回答できないわけがありません。議会答弁は、村民への答弁と同じという大切な意味があります。

まさか土木公共事業に関心はあっても、村民の暮らしの現状は耳や目に入らず、また関心も無いというのではないのでしょうか…?

従って、再度、「村民と行政の一体化した『山中湖村経済対策協議会』のような機関を緊急に設置し、広く住民のアイデアと専門家の見解をとり入れて、即効性のある実働機関とすべきこと」を、村長と村民の皆さん

観光振興公社の決算書が報告されました

《紅富士の津・石割の湯・花の都関係》

◆決算内容

総収入 : 698,238,580円(売上げ+雑収入)
総支出 : 712,083,854円(販売経費+雑損失)
差引 : ▲13,845,274円(累計=16,408,729円の赤字)

◆入場者数

紅富士の湯: 455,340人(前年より0.4%増...前々年は2%増)
石割の湯: 194,980人(前年より1.5%増...前々年は2%減)
花の都: 159,940人(前年より13.8%減...前々年は20%減)

◆その他のデータ

人件費 : 335,425,536円(経費の75%、従業員数=103名)

※経費関係等に不明朗な点があり、同時に公社運営の根本的な見直しが必要と思われる



山中湖村の魅力発信のために住民自身が企画

山中湖村を訪れるお客様に、点(1つの目的)としてではなく、線(関心のある広がり)に つないでゆき、面(リピーター)に育てていけるように、幾つかのグループがこの夏に間に合うようにと企画を凝らしています。この紙面でご紹介できるよう大いに期待して

お気軽にご参加ください

7月5日(月)夜7時から
旭日丘中央公民館
(1階和室)

- 議会活動の詳細をご報告
- 観光振興公社の決算書について
- これからの山中湖を考える会

お礼とお願い

村政についてのご意見や励まし・ご提言を、お手紙や電話、FAXで沢山いただいております。さらにいろいろなお意見をお聞かせください。これからの活動に役立てます。